

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018 年 5 月 20 日公開

ガザの暴動・ロイヤルウェディング

今日は先週起こった、預言的に非常に重要な意味を持つ出来事について、お話ししたいと思います。もちろん、トランプ大統領が選挙公約通り、アメリカ大使館をテルアビブからエルサレムに移転させた件についてです。月曜日（5/14）にそれが行われました。

まずは Breaking Israel の記事から始めます。タイトルがまた適切で、
「大使館移転に関する 終わりの時の手引き」

——月曜日、トランプ大統領の命令に従って、アメリカ大使館が、正式にエルサレムに開館した。多くの人が、これは「メシアへの行程」には、不可欠であると信じている。——

興味深い言葉ですね。念頭に置いておいてください。ユダヤ人達は今でも、彼らのメシアを待ち望んでいます。彼らは、真のメシアを拒絶しましたから。

——もう一つ、メシアへの行程において不可欠なのは、歴史的建造物である、第三神殿だ。有名ラビ達の何人かは、この真の意味と、なぜ、これが、これまでと同じ“短命の政治的戦略”でないか、その理由を強調した。

“The Land of Israel Network”の創始者である、ラビ Jeremy Gimpel は、アメリカ大使館のエルサレムでの開館を、預言の一部であり、ユダヤ人達の祈りの答えであると見ている。ラビは、宗教熱心な人の中には、これは、トランプ大統領による、宗教に基づく政治的な動きであると懐疑的な人もいる、と補足し、—

その後の、このラビの言葉をよく聞いてください。

——「トランプ大統領は聖人でない為、この神の行程には、一切関わりがない、という人達には、ぜひこのイザヤ書や、エズラ記を読んでいただきたい。そこでは、クロスという名の男によって、神の回復の計画が行われているのだ。」ラビ Gimpel は言いました。「イスラエル 70 周年記念日（5 月 14 日）に起こった、この歴史的動きが、無意識であるとか、偶然だと考えるのは、致命的な間違いだ。この行程の終わりは“ゲウラ”“罪の贖い”で知られており、トランプ大統領の一步によって、世は“ゲウラ／罪の贖い”に近づいたのだ。他の者達は失敗したが、彼はそれに成功した。大使館をエルサレムに移動した大統領は誰もいなかったところへ、トランプは、予想外の成功を治めたのだ。この行程の中で、最も素晴らしい彼のステップは、核心がエルサレム破滅に向けられていた、イランとの協議の取り消しだ。」——

これ、覚えておいてください。Fox News の記事です。

——Jeanine・Pirro 判事は、トランプが、クロス王のように、預言的役目を果たしたという、この意見に共鳴した。——

木曜日の聖書の学びを私達と一緒にされている方は、エズラを学んだ時に、このクロス王に関しても学びましたね？月曜日の Christian Post が、Pirro の言葉を引用しています。

——「ドナルド・トランプは、歴史を認識している。彼は、かつてのクロス王のように、ユダヤ教徒、クリスチャン、そしてムスリムが礼拝する、神の聖書預言を成就させた。」——

明確にしておきます。ムスリムは、ユダヤ教とクリスチャンが礼拝する神と同じ神を拝んでいるのではありません。アッラーは、エホバと同じ神ではありません。引用を続けます。

——「エルサレムは、ユダヤ人国家の永遠の首都であり、ユダヤ人達は、自由な独立国家としてのイスラエルを持つ当然の資格がある。」——

記事は続けて伝えています。

——3 月、イスラエル首相のベニヤミン・ネタニヤフ自身も、ユダヤ人をバビロン捕囚で救い出した事が聖書に記されている、ペルシャ王クロスと、トランプをなぞらえている。——

非常に興味深いですね。

さて、この日が、ユダヤ人とクリスチャンにとっては、お祝いであるのと同時に、この日は、パレスチナ人にとっては、“ナクバの日”でもあり、私の母語のアラブ語では、“大惨事の日”です。この為、ガザでは暴動が起り、ハマスのテロリスト 50 人が殺されました。木曜日の Breaking Israel の報道によれば、——パレスチナ人 62 人の内、50 人がハマスのテロリストであった事を、 Hamas 当局が、インタビューで認めた。ガザ国境沿いで、イスラエル軍と衝突し殺されたのは、テロ集団のメンバーだった。ガザ国境沿いで殺されたデモ隊の多くは、ハマスのテロ集団のメンバーであったとの啓示は、月曜日のアメリカ大使館のエルサレム開館を利用して、数々の宣伝活動の点数を稼ごうとした、パレスチナのテロ集団の責任である、とのイスラエル指導者の言葉を確証した。——

これが実際に起こっている事です。これで足りなければ、The Times of Israel によると、ハマスの共同創始者である、Mahmoud al-Zahar までもが、国境での暴動に関して、社会を欺いていた事を認めています。——テロ集団は、ガザ国境での暴力的なデモで 60 人が殺された日の前日、“平和な抵抗”と言って、社会を欺いた。——

さらに加えて、The Jerusalem Post が報じた、エルドアン発言です。よく聞いてください。

——「トルコは、イスラエルが、パレスチナ人からエルサレムを盗むのを許さない。」——

先週から始まった、イスラエムの聖なる月マラダン初日の晩餐会での事です。

——エルドアンが発言。「国際社会の大半が、ガザでの出来事に対して、報復、警告をせず沈黙したのは、“危険な扉を開いた”事を意味する。」ガザでの出来事は、また、トルコとイスラエルの外交にも火を点け、火曜日、両国ともに上級外交官を追い出している。——

重要な事をお伝えしておきますと、この前に、トルコの首相が、異例のイスラエム国家首脳会議を招集し、イスラエルに敵対して一致するよう、呼びかけています。この首脳会議には、他国も混じって、ロシア、イラン、トルコ、スーダンも含まれていました。なぜそれが重要なのか？それは、これはまさに、エゼキエル 38 章に、その古代名で記されている国々だからです。ここから、私が預言的な要点に入ろうとしているのは、皆さんもご存知だと思います。

先週、私達が目にした事の全てによって、次の 3 つの預言成就にさらに近づいた、と私は思っています。ここで、“さらに近づいた”と私が言った理由は、これまでも、すでに、ものすごく近づいていたのが、“さらに近づいた”と私は信じているからです。

①エゼキエル 38 章

②ゼカリヤ 12 : 1-3

③ダニエル 9 : 27

エゼキエル 38 章から始まります。後ほど、エゼキエル 38 章について、さらにお話しします。その前に、このエゼキエル 38 章の預言に関して、あまり馴染みのない方の為に言いますと、これは、イスラエルを攻撃する為に集まる同盟国に関してで、彼らの主な目的は、イスラエルを、地図上から完全に消し去る事ではありません。そうでなく、略奪する事が目的です。そして、略奪するという事は、イスラエルには、彼らが狙っているものがあるという事を意味します。これもまた、後ほどお話ししますので、よく覚えていて下さい。ところで、彼らは成功しませんよ？それから、彼らが成功しない理由は、アメリカが介入し、イスラエルを防衛する為ではありません。そうでなく、神が介入され、彼の民、ユダヤ人を防衛されるのです。そして、この同盟国達は、完全に滅ぼされます。完全に滅ぼされるのです。しかもそれは、この事を示唆している次の言葉が、私は特に大好きですが、それは、非常に“突然”起こります。それは、“あつという間”に起こるのです。これは、“突如”と同意語ですよ？同意語だとしておきましょう。それは、あつという間に起こります。

また、成就がさらに近づいたと私が考えている次の預言は、ゼカリヤ 12 章です。これは、神ご自身が、エルサレムの都、数ある町、数ある部族の中から、彼ご自身が選び、所有者として、その御名を置かれた都、そのエルサレムに、全世界がよろめき、執着するように、神ご自身がされるのです。今や、中東に関する新聞のニュースや、ニュース番組を見る時、エルサレムが、大きな問題として必ず登場します。これは、ゼカリヤ 12 章です。それがゼカリヤ 12 章です。

それから、3番目にダニエル9:27です。これは、実に詳細に書かれた預言で、反キリストが、強制的に7年間の和平協議を課し、その中間の3年半の時点で、彼自身を神として、新しく建てられた神殿に身を置きます。これは、7年間の和平協議の中に、それが盛り込まれる事を示唆しており、まさに、先ほどお読みした通り、ユダヤ人が期待している事です。しかし、中間時点で彼は、自分を拝むように命令し、その時点でユダヤ人達は、彼が、自分のメシアではない事に気づきます。反キリストは、ダニエル9:27に書いてある通り、荒らす忌むべき事を行います。ユダヤ人達は、まず偽メシアを信じ、その後、彼が本物のメシアでないと感じて、救いにいたる真のメシアを知るのです。

つまり、私は何が言いたいのか？私が言いたいのは、現在起こっている事のすべては、私達が、前もって告げられている通りの事だという事です。また、こうして私達が話している間にも、反キリストの登場に向けて、世は熱し、準備が整ってきていると、私は心から思っています。イスラエルでも同様です。全てにおいて、この男が登場し、これを行う為の準備が整ってきています。

昨日、今日のアップデートの準備をしていた時に、Fox NewsのJudge Jeanine Pirroを見ると、彼女は、月曜日の大使館開館式でイスラエルに居て、ベニヤミン・ネタニヤフ首相に、インタビューをしていました。その時に、イスラエル首相が言った言葉に、私は驚愕したのです。私はあまりにも驚いたので、何度も巻き戻して聞き返し、一字一句を確認しました。今日、皆さんにお伝える為に、今朝早く、それを行っていました。今からお伝えするのは、インタビューの一部です。Pirroとネタニヤフの言葉を引用しますので、彼らの言葉をよく聞いて、エゼキエル38章のレンズを通して見てください。その前に、前提として次の事を、お伝えしておきます。まず第一に、エゼキエル38章の13節が告げている、非常に詳細な記述には、次のようにあります。現在、イスラエルの味方であるサウジアラビアが、彼らの天敵イランに敵対して、次のように言うことがあります。彼らは、タルシュシュの商人および、そのすべての若い獅子達と一緒に、イスラエルに対する攻撃に抗議する、と書かれています。それが、実に詳細に書かれていて、具体的には、次の言葉が使われています。

「あなたは物を分捕る(SPOIL)のために来たのか。」

物を分捕る(SPOIL※KJV訳)という、この言葉をよく覚えていてください。

ちなみに、エゼキエル38章の預言には、非常にたくさんの詳細が記述されています。エゼキエル38章の預言にある詳細のもう一つは、イスラエルは非常に強く、繁栄していて、非常に安全で、自信に満ちていると言っても良いでしょう。そこで、このレンズを通して、このインタビューの一部をお聴きください。



Pirro:「今、イランはロシアと同盟を組んでいて、その代理がシリアに居ます。」

ところで今日は、そこまでお話ししている時間がありませんが、シリアのダマスカスは、イザヤ17章です。私はこれが、エゼキエル38章の預言のきっかけになると信じています。

ネタニヤフ:「そうです。彼らは、自分達のゴールは、これらの危険な武器をイスラエルの国境近くに持ち込み、イスラエルを滅ぼす事だ、と公言しています。それに対して、私はずっと言って来ました。『NO!我々は、後ではなく、あなた方が軍隊を立ち上げる前に、あなた方に立ち向かう。』」

ちなみに彼の言う、「今、あなた方が我々の国境にまで武器を持ち込んでいる為、私達は、あなた方に立ち向かう」とは、シリアのダマスカスで立ち向かう事を、言っているのです。先ほども言った通り、これはイザヤ17章です。

ネタニヤフ：「あなたならどうしますか？（Pirroに質問しています。）どこの国でもするでしょう？もし、誰かがアメリカ合衆国のすぐ隣に、恐ろしいミサイルを持ってきたら、さらには、その目的が、アメリカ合衆国を滅ぼす為だと告げているなら、あなたは、ただ座って見えていますか？いいえ！それから、私には、イランがそれを行う事を、ロシアが望んでいるかどうか、分かりません。」

Pirro：「そうですか！？」

ネタニヤフ：「ええ。なぜなら、私が思うに彼らは今、競って、物を分捕ろう（SPOILS）としていますから。」

あの…、歳と共に、オーバーな反応はしなくなるものですが…。いや、これはちょっと違うかも知れません。ともかく、歳と共にエネルギーもなくなって来るもので、あまり、若い頃のように反応しなくなりますが、正直に言えば、私は座っていた椅子から転げ落ちそうになりました。私にすれば、それは、ものすごい事なのです。

「今、彼は何と言った！？」私は、インターネットに、この動画が投稿されるのが待ちきれませんでしたよ。私は初め、自分があまりにもエゼキエル38章に注目するあまり、彼の口からこの言葉が飛び出したように聞こえたのだと思ったのです。でも違います！彼が、「SPOIL」という言葉を使ったのです。ロシアとイランが「SPOIL / 分捕る」と。これは13節ですよ！！皆さん、分かりますか？！こんな風に考えているのは、私だけですか？ロシアとイランに関して、今、シリア国内でスタンバイをしている者達。イスラエルに攻撃を仕掛ける為に、エゼキエル38章の中で、彼らが攻撃すると言われている通りに、です。

ネタニヤフは続けて言っています。

ネタニヤフ：「（ロシアとイランの間で）彼らが敵対しているのかどうか、私には分かりません。しかしイランは、我々に敵対しています。イランは、アメリカ合衆国に敵対しています。イランは、中東のほぼ全てのアラブ諸国と敵対しています。我々は、トランプ大統領の指導の元一致して、イランをシリアから追放、イランを拘束して、その攻撃を止めなければならない、と私は思っています。もし、平和を推し進めたいなら、平和の敵に対峙する事が、その方法です。」

Pirro：「強いイスラエルと共に？」

ネタニヤフ：「その通り。」

私の事を何と言って下さっても結構です。しかしこれは、まさにエゼキエル38章の中で、私達に告げられている通りです。5年前、これは、すぐに考えられる妥当な筋書きではありませんでした。しかし今日、これは現在形です。

最後のもう一つ。

このロイヤルウェディングの映像が、私の事務所で写っていて、Fox NewsではJudge Pirroが映る一方で、もう一方ではこれを、テニスの試合のように、あっち向いたりこっち向いたりしながら見ていたのです。そこで、私がものすごく興味深いと思った事があります。と言っても、ロイヤルウェディングに興味があったのではなく、ロイヤルウェディングが興味深いと思ったのです。これはいったいどういう事か？！と。



そこで主が私に示してくださった事を、簡単に皆さんにもお伝えしたいと思います。昨日起こった、このロイヤルウェディングに対する、世の熱狂っぷりに関してです。ここに居る人達は、まるで、この結婚式に憑りつかれ、酔いしれているようで。そこで主が、私に見せて下さったのは、これに関して疑問を抱くのは、聖書的、さらには預言的な理由がある、という事です。これには理由があるのです。皆さん、何だか分かりますか？

それは、神が私達をそのように創られたからです。そして、私達も結婚式を行います。男性の皆さんには、これは奇妙に感じる事も分かりますよ？それは構いません。私にも分かります。私も男ですから。しかし、私達はキリストの花嫁です。そして、ロイヤルウェディングについて語りたなら、私達の場合は、ただの王子ではありませんよ？王子の中の王子です。それも、王の王。全ての結婚式に勝る、ロイヤルウェディングです！

チャペルから車が出され、花嫁が姿を見せた時には、これがもう！

私は、結婚式を執り行うのが大好きです。これが、かなり恥ずかしいのですが、結婚式になると、私は涙もろくて。花嫁が、バージンロードを歩いてきた時には、もう…私が泣いてしまうのです。私は、結婚式を執り行っている牧師ですよ？なのに、ここに居る花婿が、私にティッシュを渡してくれて、ものすごく恥ずかしいですよ。でも、花嫁がバージンロードを歩いてくるのを見つめる花婿を見るのが、私は大好きなのです。

一つ、お話ししても良いですか？これまた、皆さんは「嫌だ」なんて言えませんが。一つ、ぜひお話ししたいのは、何年も前の話です。本土のノースアイダホに居た頃の事です。私が始めた教会で牧師をしていた時、礼拝の終わりに差し掛かった頃に、招きをするようにと、主が、私の心に強く語られたのです。しかもそれが、ものすごく具体的で、当時私は、ただ聖霊に導かれるまま、それに答えただけでした。しかし、今から振り返ってみると、そこにはたくさんの知恵があります。あなた達が今座っている、その辺りに座っていた女性が、花婿の所に向かう花嫁のように、通路を歩いてくる、と主が言われたのです。私は誰の事も指さしたりしませんでしたよ？ただ、感覚的に主が言っておられるのを感じたのです。この中に、花婿の所に向かって、バージンロードを歩いてくる花嫁のように、ここを歩いて来るべき女性が居る、と。その時、私は、頭を下げて目を閉じて、とは言いませんでした。ただ、「私も、あなたと一緒に喜びたい。」と言いました。そしたら、頬に涙を流した女性が立ち上がって、通路を歩いてきて、花婿であるキリストに人生を捧げたのです。これがもう、私はただ、驚愕しました。しかし、これはそういう事なのです。これと同様なのですよ。

今日は、これで締めたいと思います。一言で言いますと、私達の結婚式の日が、急速に近づいています。小羊の婚宴、結婚の完成のお祝い、それは、7年の終わりに起こります。世が患難を経験している間、私達は天でお祝いしている、と言われます。イエスが、「私は、あなた方の為に場所を整えに行くのです。」と言われた時、彼は、花婿として花嫁の為に、部屋を整えに行く、と言われたのです。「私のいる場所に、あなた方もおらせる為です。」（ヨハネ福音書 14：2-3）

きっとこれは、今日、ここに居られるどなたか、また、インターネットで観ておられる誰かへの、招きだと思えます。花嫁が、バージンロードを歩いて花婿の元へ行くように、あなたにとっては、今日がその日なのかも知れません。

これから、良い知らせ、イエス・キリストによる救いの福音について、お伝えします。第一コリント 15:1-4 で、使徒パウロが福音について説明しています。

“キリストは、聖書の示す通りに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示す通りに、3日目によみがえられたこと。”（第一コリント 15:1-4）

死を打ち破り、全人類の罪を全額支払われました。それが福音であり、良い知らせです。では、福音にどう応えるか？

それは、ABCと同じくらいシンプルで、「救いのABC」で知られています。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分が罪人であり、神の完璧な義の基準に足りない事を、認める、もしくは認識する。ローマ書にはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」” (ローマ 3:10)

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず” (ローマ 3:23)

“罪から来る報酬は死です。” (ローマ 6:23)

これは、死刑です。その為に、イエスが来られ、私達の代わりに受けてくださいました。

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。” (ローマ 6:23)

B=Believe/信じる

心で信じる。これは、ローマ 10:9-10 に書かれています。

“あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9-10)

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める。もしくは、イエス・キリストが主であり、神が彼を死からよみがえらせた、口で告白する。これもまた、ローマ書 10:9-10 が告げている事で、

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:9-10)

最後に、ローマ書 10:13 にはこうあります。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」” (ローマ 10:13)

これまで、一度も主の御名を呼び求めた事のない方は、お願いします。今日、この美しい教会を出る前に、それをして下さい。もし、これをインターネットで観ている方は、お願いですから、先延ばしにしないでください。今は、終わりに来ています。時が近づいています。

祈りましょう。

天のお父様。あなたに、心から感謝します。主よ。終わりの時に、世がどのように見え、どのようになるのかを、あなたは、御言葉の中で実に具体的に知らせて下さり、感謝します。今、私達が周りを見渡すと、全てが、あなたの言われた通りである事は、実に明確で疑う余地もありません。主よ。疲れ、落胆し、あなたの戻りを待ち望

んでいる人達を、どうか、あなたが慰め、その心を強めてください。どんな困難に直面してしようとも、必ずあなたが、そこから導き出してくださる事を、あなたにしか出来ない方法で、お一人お一人に思い起こさせ、あなたが来られる時まで、希望で満たしてください。また、あなたの御名を、一度も呼び求めた事の無い人達にとっては、今日が、彼らの救いの日になりますように。イエス様。私達の花婿である、あなたとの結婚式の日を待ち望みつつ、イエスの御名によって祈ります。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、リョクさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe
47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii
訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>
筆記 by まい